



日本シイエムケイ株式会社  
(証券コード：6958)

# 2012年3月期 決算説明資料 2013年3月期 業績予想説明資料

2012年 5月11日

日本シイエムケイ株式会社

## 2012年3月期 決算概要

1. 総括	．．．	3
2. 売上高の状況	．．．	4
3. 営業利益の状況	．．．	6
4. 設備投資の状況	．．．	7

## 2013年3月期 業績予想

5. 総括	．．．	9
6. 売上高の状況	．．．	11
7. 営業利益の状況	．．．	13
8. 設備投資の状況	．．．	14

# 1. 総括 売上高・利益実績



## ■売上高

上半期は東日本大震災の影響、下半期はタイの洪水の影響もあり、前期比減収

分野別には ・自動車・デジタルカメラ関連: ほぼ前期並

・AV・デジタル家電・通信関連: 大幅減収 ・アミューズメント関連: 大幅増収

## ■利益

・営業利益、経常利益: 徹底的なコスト削減、生産性の改善により、前年比売上減少に拘わらず、大幅増益

・当期利益: 事業構造転換の為の特別損失26億円計上もあり赤字継続 (単位: 百万円)

	11/3月期 (実績)		12/3月期 (実績)		前年比 (通期)	増減率
	上期	通期	上期	通期		
売上高	45,159	87,023	38,032	80,563	-6,460	-7.4%
営業利益	-543	-1,041	-471	757	1,798	—
経常利益	-1,185	-1,991	-1,382	346	2,337	—
当期利益	-1,360	-5,726	-1,282	-2,873	2,853	—

\*数字は切捨てにて表示。

%は小数第二位を四捨五入となっております。

## 2. 売上高の状況①



### ■用途別実績

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)		12/3月期 (実績)		前年比 (通期)	増減率	主な要因
	上期	通期	上期	通期			
カーエレ・車載	230	435	187	423	-12	-2.8%	・震災の影響により上半期減収/下半期回復
通信	49	96	38	67	-29	-30.2%	・国内メーカー従来型携帯電話向け需要の低迷
AV・デジタル家電※1	37	71	17	32	-39	-54.9%	・価格下落激しく選別受注対応
デジタルカメラ	25	47	24	49	+2	+4.3%	
アミューズメント	8	29	19	43	+14	+48.3%	・ゲーム機用高付加価値基板増加
その他※2	100	190	93	191	+1	+0.5%	
合計	451	870	380	805	-65	-7.5%	

※1 ビジュアル+オーディオ    ※2 コンピュータ+家電+OA+その他

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

## 2. 売上高の状況②



### ■製品別実績

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)		12/3月期 (実績)		前年比 (通 期)	増減率	主な要因
	上期	通期	上期	通期			
ビルドアップ・ パッケージ基板	141	280	125	264	-16	-5.7%	・ゲーム機向け需要増加 ・国内メーカー従来型携帯電話向け需要 の低迷
多層プリント 配線板	134	261	110	241	-20	-7.7%	・車載向け需要が上半期減収 ・AV・デジタル家電は選別受注対応
両面プリント 配線板	102	189	82	168	-21	-11.1%	
その他	73	137	62	131	-6	-4.4%	
合 計	451	870	380	805	-65	-7.5%	

\*数字は切捨てにて表示。

%は小数第二位を四捨五入となっております。

### 3. 営業利益の状況



#### ■地域別実績

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)		12/3月期 (実績)		前年比		主な要因
	売上	利益	売上	利益	売上	利益	
日本	638	15	584	26	-54	+11	・徹底したコストダウン及び下半期の車載需要の増加
中国	229	0	218	-6	-11	-6	・価格競争の激化、材料費・人件費高騰、元高
東南アジア	108	-21	103	-6	-5	+15	・タイ工場の製品ミックスの改善と稼働率の向上
欧米	31	0	29	0	-2	+0	
計	1,008	-4	934	14	-74	+18	
消去又は全社	-137	-5	-129	-6	+8	-1	
連結	870	-10	805	7	-65	+17	

※売上、利益はセグメント間取引を含めた金額

\*数字は切捨てにて表示。

%は小数第二位を四捨五入となっております。

## 4. 設備投資の状況



### 実行ベース

(単位:億円)

	11/3月期 (実績)	12/3月期 (実績)	前年比	主な投資内容
国内	5	5	+0	・品質強化
海外	13	13	+0	・中国無錫工場ビルドアップ <sup>o</sup> 関連投資約8億円
連結	18	18	+0	

	11/3月期 (実績)	12/3月期 (実績)	前年比	主な投資内容
ビルドアップ・ パッケージ事業	9	13	+4	・中国無錫工場ビルドアップ <sup>o</sup> 投資約8億円
両面・多層貫通 事業	8	4	-4	・品質強化
その他	0	1	+1	
投資合計	18	18	+0	

減価償却費	63	52	-11	
-------	----	----	-----	--

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

# 2013年3月期 業績予想

5. 総括	・ ・ ・	9
6. 売上高の状況	・ ・ ・	1 1
7. 営業利益の状況	・ ・ ・	1 3
8. 設備投資の状況	・ ・ ・	1 4



## 5. 総括－① 経営方針



### I. 収益構造の改善

グループ全体の収益構造の改善を最重要課題と位置付け、戦略的かつ機動的な経営を実現して、安定した収益体質を目指す。

### II. 品質第一の経営

「品質第一」の経営方針を再確認し、技術・品質・コスト・サービスにおける競争力の強化に務める。

### III. 事業構造の転換

国内においては高付加価値事業の確立を含め事業構造の最適化を追求し、海外においては成長市場に対応する為、生産能力の拡充と最適地生産体制の実現を図る。

## 5. 総括－② 13/3月期売上・利益見込み



- ・連結中期経営計画(2012年2月10日発表)の基本方針に基づき、国内においては不採算事業見直しを含む事業構造転換を推し進め、収益性を強化。
- ・海外事業は従来のグローバル生産販売体制をより強化して、今後予想される顧客の海外生産シフトの加速に備えるとともに、グループの業績回復の柱として成長させてゆく。
- ・13/3月期は、中期経営計画初年度として、グループ経営の改革を強力に推進するとともに、総合力を結集して業績の改善に取り組む。

(単位:百万円)

	12/3月期 (実績)	13/3月期 (見込)	前年比	増減率
売上	80,563	82,000	+1,437	+1.8%
営業利益	757	2,800	+2,043	+269.9%
経常利益	346	2,000	+1,654	+478.0%
当期利益	-2,873	1,200	+4,073	—

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2012年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

## 6. 売上高の状況①



### ■用途別見通し

(単位:億円)

	12/3月期 (実績)	13/3月期 (見込)	前年比		主な要因
			(通 期)	増減率	
カーエレ・車載	423	458	+35	+8.3%	本格的復調により増収見込
通 信	67	56	-11	-16.4%	国内携帯メーカー向けが低迷
AV・デジタル家電※1	32	48	+16	+50.0%	対前年比改善を見込む
デジタルカメラ	49	62	+13	+26.5%	需要増加
アミューズメント	43	40	-3	-7.0%	
そ の 他※2	191	156	-35	-18.3%	
合 計	805	820	+15	+1.9%	

※1 ビジュアル+オーディオ ※2 コンピュータ+家電+OA+その他

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2012年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

## 6. 売上高の状況②



### ■製品別見通し

(単位:億円)

	12/3月期 (実績)	13/3月期 (見込)	前年比 (通期)	増減率	主な要因
ビルドアップ・ パッケージ基板	264	280	+16	+6.1%	車載向けが復調、デジカメ需要増加
両面・多層貫通 プリント配線板	409	440	+31	+7.6%	中国、東南アジア地区の車載需要の 増加
その他	131	100	-31	-23.7%	
合 計	805	820	+15	+1.9%	

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2012年5月時点での見通しであり、  
その実現を保証するものではありません。

# 7. 営業利益の状況



## ■地域別見通し

(単位:億円)

	12/3月期 (実績)		13/3月期 (見込)		前年比		主な要因
	売上	利益	売上	利益	売上	利益	
日本	584	26	592	34	+8	+8	・減損処理による償却費減:6億円 ・更なる生産性改善:2億円
中国	218	-6	237	1	+19	+7	・車載品需要の取込と生産効率改善
東南アジア	103	-6	134	2	+31	+8	・タイ工場の業績改善
欧米	29	0	28	1	0	+1	
計	934	14	990	38	+56	+24	
消去又は全社	-129	-6	-170	-10	-41	-4	
連結	805	7	820	28	+15	+21	

※売上、利益はセグメント間取引を含めた金額

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2012年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

## 8. 設備投資の状況

### 実行ベース

(単位:億円)

	12/3月期 (実績)	13/3月期 (見込)	前年比	主な投資内容
国内	5	25	+20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質改善 (約4億円)</li> <li>・生産性向上 (約2億円)</li> <li>・研究開発 (約4億円)</li> </ul>
海外	13	14	+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質改善 (約3億円)</li> <li>・生産性向上 (約9億円)</li> </ul>
連結	18	40	+22	
減価償却費	52	37	-15	

\*数字は切捨てにて表示。  
%は小数第二位を四捨五入となっております。

本資料における将来情報は、2012年5月時点での見通しであり、その実現を保証するものではありません。

**END**